

2025年7月6日(日) 9:00~12:00

## 研究のデザイン・論文の書き方を学ぶ

～ 学会誌に投稿を希望する方のためのワークショップ～



学校現場での実践を論文の形にして報告したいという方は多いのですが、比較群がない、インタビューをどのように妥当性のあるデータにしたらいかわからない、KJ法、M-GTAと聴いても、そこから理論的考察をするにはどうしたらいいのか? など、何から取り組んだらよいか困っている方もいらっしゃると思います。今回は、初めて論文に取り組む方にも、論文を書くためのポイントを解説してもらいます。

### 第1部: 研究論文の書き方

- ・納得できる根拠による論証(論文の書き方)
- ・納得できる問題の立て方(研究の目的)
- ・納得できる根拠の確保(研究のデザイン)
- ・納得できる根拠を用いた  
納得できる論証の仕方(考察のしかた)

### 第2部: ワークショップ

- ・「納得できる根拠」を考える演習
- ・納得できる論証をする演習

講師: 村上 達也 氏

立正大学法学部 准教授 博士(心理学)

早稲田大学教育学部にて、心理学を修めた後、筑波大学大学院にて博士(心理学)を修得。学校心理士、臨床発達心理士。

様々な学会誌の編集委員を歴任され、若手研究者の指導や学校現場での先生方の相談にも乗っておられます。

講師からひとこと:

素晴らしい実践をどのようにしたら論文の形にできるのか、私の論文執筆や論文査読の経験をもとに、論文を書くために大事なことを、具体的にお伝えできれば幸いです。

講師: 早稲田大学 教育・総合科学学術院

教授 本田 恵子 氏

講師からひとこと: 実践を重ねていて、伝えたいデータはたくさんあるけれど、論文にするにはどうしたらよいか、ハードルが高いと思いがちですね。講師の村上先生は、量的、質的どちらの論文にも精通されています。

この機会にぜひ、いろいろ学びましょう。

【日時】 2025年7月6日(日) 9:00~12:00

【場所】 早稲田大学 中野国際コミュニティプラザ 113・114

対面とオンラインのハイフレックス研修

【参加費】 会員: 1000円(早大生: 無料、学外生: 500円)

一般: 3000円(早大生: 1000円、学外生: 1500円)

【申込方法】 学会HP申込フォーム・下記URL・QRコードのいずれかからお申し込みください

URL: <https://forms.gle/7SKboC4Nd3ZjyTvF6>

【締め切り】 参加申し込みと参加費振り込みは同時にお願います。締め切り6月28日(土)

【お問い合わせ】 [dev-dis-office@list.waseda.jp](mailto:dev-dis-office@list.waseda.jp) (インクル学会事務局)

